

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	211	施策	危機管理体制の充実
管理事業	防災対策事業	所管部局	総務部

1	所管 室課	危機管理室	事業名	防災対策事業			
事業概要							
防災情報充実強化、防災訓練、地域防災計画推進、国民保護法関連、防災関連システム運営管理、防災体制推進、防災用備蓄倉庫整備、非常用物資備蓄、避難所等整備							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
(1) 防災関連システム運営管理 災害時に必要な情報収集システム等の管理運営を行った。 令和5年度 デジタルMCA無線機86台を更新 令和6年度 総合防災センターへの大阪府防災行政無線の移設 令和7年度 スターリンク等非常用の通信設備を導入 (2) 非常用物資備蓄 災害時に必要な食料、生活必需品、使い捨ての携帯トイレ等を購入した。 令和5年度 10,430,027円 令和6年度 6,980,421円 令和7年度 9,423,897円 (3) 防災総合訓練の充実 関係機関や協定締結先等と連携し地域防災総合訓練を実施することで災害対応力の強化を図った。また、市民参加型のイベント等を実施することで、市民の防災意識の向上を図った。 訓練参加機関及び参加者数 令和5年度 61機関、約5,000人 令和6年度 62機関、約7,300人 令和7年度 65機関、約5,000人 (4) 市公共施設への循環型トイレの試行的導入 本庁舎中層棟1階の多目的トイレに、フェーズフリーで使用できる循環型トイレを試行的に導入した。			決算額 (千円)	107,179	92,994	88,999	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	99.9	99.9	87.5	☐ 有効性 ■ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
				市の災害対応力強化のために必要な取組であることから、限られた予算の中で最大限効果を発揮できる取組を優先的に実施していく必要がある。 システム等の設備については、定期的なメンテナンスにより維持管理を行いつつ、老朽化等に伴う更新についてはリースでの対応等も含めて効率的に行う必要がある。			
				令和6年能登半島地震の教訓を踏まえた災害対応力の強化に引き続き取り組むとともに、既に導入した設備やシステム等の維持管理や老朽化等に伴う更新に取り組んでいく。			

2	所管 室課	危機管理室	事業名	(仮称)片山・岸部地域備蓄倉庫整備事業			
事業概要							
(仮称)片山・岸部地域備蓄倉庫整備							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
【埋蔵文化財調査】 施設建設予定地で発見された埋蔵文化財の発掘調査について業務委託を行った。 令和7年度 9,556,589円			決算額 (千円)	-	-	9,557	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	-	-	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☒ 持続可能性
			令和7年度に建設業務等の発注を予定していたが、応札者がなく契約不調となったため、令和8年度当初予算において再度所用金額を積算し、予算計上している。 市内6ブロックに整備している備蓄倉庫の内、千里山・佐井寺地域のみ総合運動場地下1階駐輪場の改修による暫定運用となっていることから、早急に整備場所を確保する必要がある。				今後の実施計画 の方向性・内容
							継続
							供用開始時に必要な備品や物品の購入、備蓄品の移送

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	211	施策	危機管理体制の充実
管理事業	防災対策事業	所管部局	環境部

1	所管 室課	事業課	事業名	防災対策事業		
事業概要						
災害用簡易トイレの備蓄管理						
活動実績		年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
災害用トイレの器材及び消耗品等の備蓄推進を行った。 購入個数 自動ラップ式トイレ 125台 テント 125個 凝固剤 375個 フィルムロール 375個		決算額 (千円)	－	－	26,426	※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	－	－	55.3	■ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 ■ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
		市内指定避難所に、自動ラップ式トイレ等を購入し配備した。災害時に、適切に使用できるよう使用方法等の周知が必要である。				継続

	所管 室課		事業名				
事業概要							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
			決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名